
北海道立林産試験場

創立50周年を祝して

社団法人 北海道林産技術普及協会
会長 竹内久彌



北海道立林産試験場創立50周年おめでとうございます。

北海道立林産試験場は、本道における森林資源の高度利用と木材産業の振興発展を図る使命をもって、昭和25年8月、旭川市緑町に北海道立林業指導所として設立されて以来、50周年の記念すべき年を迎えられましたこと、心よりお慶申し上げます。

この間、昭和39年には、北海道立林業指導所を北海道立林産試験場に改称し、昭和61年には約5億円の巨費を投じて、ここ西神楽の地に新築移転をされ、新しい施設の元、今や我が国における代表的な研究機関としてまた国際的にも特色ある有数の林産物研究所として、確固たる地位を築かれたことは、誠に頼もしく、ご同慶の至りに存じます。

この50年間に、貴場は数多くの研究成果をあげられ、本道木材産業界の振興発展に多大な功績を残してこられました。

本道木材産業界にとりましては、貴場の存在は誠に心強く、大きな支えであります。

試験場の基礎を築かれてから50年、歴代の場長さまはじめ職員の皆様のたゆみないご努力により、この間に培われてきた研究成果と大きな功績に深甚の敬意を表しますと共に深く感謝申し上げます。

さて、21世紀は木材の時代といわれております。持続可能な社会の構築を図るには、循環型資源である木材の有効利用が不可欠といわれております。

林産試験場の新しい舞台がすでに用意されております。思う存分のご活躍を期待いたします。

50周年の記念を衷心よりお祝い申し上げ、今後いよいよご発展されますことを祈念いたし、お祝いの言葉と致します。